



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成25年10月30日

上場会社名 かどや製油株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2612 URL http://www.kadoya.com/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小澤 二郎
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理部長 (氏名) 戸倉 章博 TEL 03-3492-5545
 四半期報告書提出予定日 平成25年11月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の業績（平成25年4月1日～平成25年9月30日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	11,243	2.4	1,123	△12.5	1,289	△1.2	768	△11.9
25年3月期第2四半期	10,971	0.1	1,285	△19.0	1,306	△17.1	872	△4.4

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	81.79	—
25年3月期第2四半期	92.87	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第2四半期	24,021	19,352	80.6	2,058.83
25年3月期	23,979	19,334	80.6	2,056.86

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 19,352百万円 25年3月期 19,334百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	75.00	75.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	55.00	55.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 25年3月期期末配当金の内訳 普通配当65円00銭 記念配当10円00銭

3. 平成26年3月期の業績予想（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	22,600	5.4	2,150	△5.6	2,150	△15.3	1,250	△19.1	132.98

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年3月期2Q	9,400,000株	25年3月期	9,400,000株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	179株	25年3月期	179株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年3月期2Q	9,399,821株	25年3月期2Q	9,399,860株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きを実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

尚、上記予想に関する事項は添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

【添付資料】

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第2四半期累計期間	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

第2四半期累計期間におけるわが国経済は、参議院選挙で衆参ねじれ状態が解消され、政府の経済対策による円安・株高で個人消費が持ち直し、景気改善の波が波及しつつありますが、他方、円安・燃料代の高騰を背景に企業のコストアップや、来年からの消費税増税等の懸案材料もあり、今後アベノミクスによる景気回復に水を差すことも予想されます。

また、食品業界におきましても、円安や新興国の発展に伴い、需要増等を背景とした原材料価格の高騰によるコスト増加が必至であり、業界をとりまく環境は依然厳しい状況が予想されます。

このような状況下、当社は北米マーケットを中心に輸出が好調であったこと、円安や原料価格高騰によるコストアップに対して、製品値上げを打ち出したことによる駆け込み需要があったこと等により売上高は前年同期比2.4%増となりました。

コスト面では、既存設備の償却が進んだこと、前期に製品の安全性を高めるための業務改善が一段落したこと等の減少要因はあったものの、原料価格の高騰や円安が進んだこと等により、売上原価は前年同期比15.8%増となりました。

一方、販売費及び一般管理費は、徹底したコスト削減を図ったこと等により前年同期比14.8%減となりました。

この結果、売上高は11,243百万円(前年同期比272百万円増)、経常利益は1,289百万円(前年同期比16百万円減)、四半期純利益768百万円(前年同期比104百万円減)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

①ごま油事業

ごま油事業におきましては、家庭用では同業他社との競合等により苦戦するものの、製品値上げによる駆け込み需要や近年力を入れてきた輸出やセサミンが成果を出しつつあり、前年を上回る状況となりました。

また、原料購入価格が前期を上回っており、かつ円安に推移したこと等により売上原価は前期を上回る状況であります。

こうした環境下において、当社は原価のコストアップ分を吸収すべく経費の削減に努めております。

以上の結果、売上高は9,102百万円(前年同期比74百万円増)、セグメント利益は814百万円(前年同期比224百万円減)となりました。

②食品ごま事業

食品ごま事業におきましては、加工メーカー等の取引拡大等を図りながら、前年を上回る状況となりました。

また原料購入価格はごま油と同様に、原料高騰及び円安に推移したこと等により前期を上回る状況であります。

こうした環境下において、当社は利益を確保すべく、市場のニーズに即した新製品の開発等を行っております。

以上の結果、売上高は2,138百万円(前年同期比197百万円増)、セグメント利益は308百万円(前年同期比62百万円増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期末の資産につきましては、前期末に比べ41百万円増加しました。これは現金及び預金が1,195百万円、固定資産が償却等で101百万円減少するなどの減少要因があったものの、棚卸資産が1,332百万円増加したこと等によるものであります。

負債につきましては、前期末に比べ22百万円増加しました。これは未払金が222百万円、未払法人税等が18百万円、未払消費税が67百万円、役員賞与引当金が43百万円減少するなどの減少要因があったものの、買掛金が396百万円増加したこと等によるものであります。

純資産につきましては、前期末に比べ18百万円増加しました。これは繰延ヘッジ損益が30百万円、その他有価証券評価差額金が14百万円減少したものの、四半期純利益768百万円計上、配当金の支払い704百万円により利益剰余金が63百万円増加したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成25年5月14日に公表いたしました業績予想から修正は行っておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位:百万円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,159	6,964
受取手形及び売掛金	4,460	4,544
商品及び製品	851	924
仕掛品	609	643
原材料及び貯蔵品	2,888	4,114
その他	440	361
流動資産合計	17,411	17,553
固定資産		
有形固定資産	4,822	4,744
無形固定資産	32	29
投資その他の資産	1,714	1,693
固定資産合計	6,568	6,467
資産合計	23,979	24,021
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,787	2,183
未払法人税等	518	500
賞与引当金	178	177
役員賞与引当金	73	30
その他	1,267	962
流動負債合計	3,825	3,854
固定負債		
退職給付引当金	707	700
資産除去債務	71	72
長期未払金	41	40
固定負債合計	820	814
負債合計	4,645	4,668
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,160	2,160
資本剰余金	3,082	3,082
利益剰余金	13,845	13,909
自己株式	△0	△0
株主資本合計	19,088	19,152
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	216	202
繰延ヘッジ損益	28	△1
評価・換算差額等合計	245	200
純資産合計	19,334	19,352
負債純資産合計	23,979	24,021

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	10,971	11,243
売上原価	6,095	7,061
売上総利益	4,876	4,181
販売費及び一般管理費	3,591	3,058
営業利益	1,285	1,123
営業外収益		
受取利息	1	1
受取配当金	8	8
為替差益	6	141
雑収入	7	20
営業外収益合計	24	172
営業外費用		
保険解約損	—	1
支払手数料	3	3
雑損失	0	1
営業外費用合計	3	5
経常利益	1,306	1,289
特別利益		
補助金収入	0	—
特別利益合計	0	—
特別損失		
固定資産除売却損	8	5
固定資産圧縮損	0	—
会員権評価損	2	—
特別損失合計	10	5
税引前四半期純利益	1,295	1,284
法人税、住民税及び事業税	425	484
法人税等調整額	△2	30
法人税等合計	422	515
四半期純利益	872	768

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	1,295	1,284
減価償却費	295	264
その他の償却額	1	3
賞与引当金の増減額(△は減少)	1	△0
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△31	△43
退職給付引当金の増減額(△は減少)	30	△6
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△0	△0
受取利息及び受取配当金	△10	△10
支払手数料	3	3
為替差損益(△は益)	0	△2
会員権評価損	2	—
有形固定資産除売却損益(△は益)	8	5
固定資産圧縮損	0	—
保険解約損益(△は益)	—	1
補助金収入	△0	—
売上債権の増減額(△は増加)	△582	△88
破産更生債権等の増減額(△は増加)	0	0
たな卸資産の増減額(△は増加)	755	△1,332
前払費用の増減額(△は増加)	46	8
未収消費税等の増減額(△は増加)	—	△11
未収入金の増減額(△は増加)	1	△1
その他の資産の増減額(△は増加)	0	△0
仕入債務の増減額(△は減少)	△173	396
未払金の増減額(△は減少)	△4	△311
未払費用の増減額(△は減少)	△3	0
未払消費税等の増減額(△は減少)	△22	△63
その他の負債の増減額(△は減少)	△6	△15
小計	1,609	81
利息及び配当金の受取額	34	36
支払手数料の支払額	△2	△2
補助金の受取額	0	—
法人税等の支払額	△548	△502
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,092	△387
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△198	△98
無形固定資産の取得による支出	△2	△7
有形固定資産の売却による収入	0	0
有形固定資産の除却による支出	△3	△0
投資有価証券の取得による支出	△2	△2
貸付けによる支出	—	△2
貸付金の回収による収入	1	9
保険積立金の積立による支出	△6	△22
保険積立金の解約による収入	—	19
投資活動によるキャッシュ・フロー	△210	△105

(単位：百万円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△0	—
株式公開費用の支出	△12	—
配当金の支払額	△608	△702
財務活動によるキャッシュ・フロー	△621	△702
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	260	△1,195
現金及び現金同等物の期首残高	7,053	8,144
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,314	6,949

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

セグメント情報

I 前第2四半期累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	ごま油	食品ごま	計		
売上高					
外部顧客への売上高	9,028	1,941	10,969	1	10,971
計	9,028	1,941	10,969	1	10,971
セグメント利益	1,039	245	1,284	0	1,285

(注) 1. 「その他」の区分には、「仕入商品販売」を含んでおります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,284
「その他」の区分の利益	0
四半期損益計算書の営業利益	1,285

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	ごま油	食品ごま	計		
売上高					
外部顧客への売上高	9,102	2,138	11,241	1	11,243
計	9,102	2,138	11,241	1	11,243
セグメント利益	814	308	1,123	0	1,123

(注) 1. 「その他」の区分には、「仕入商品販売」を含んでおります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,123
「その他」の区分の利益	0
四半期損益計算書の営業利益	1,123

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。